

第70期 中間期 株主通信

2020年1月1日 → 2020年6月30日

最先端のパッケージング ソリューション・プロバイダーへ

TAKEMOTOは既製ボトルで
お客様のモノづくりのお手伝いをします。

証券コード：4248



代表取締役社長 竹本 笑子

■ トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、生活上必要不可欠な容器・カタチ(容)あるウツワ(器)を通じて、お客様の商品である内容物の価値を安全に包み、さらにその価値と個性化を高め「世界の器文化に貢献」することを使命としています。

その使命を果たすために、当社グループは世界のサステナビリティな発展に貢献する容器開発を継続して進め、お客様の求める商品価値の創造とより高い満足を目指し、Standoutなパッケージングソリューションを提供してまいります。

この2020年上半期は世界的に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を大きく受けた期間でした。まずはこの新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様及び感染拡大により困難な生活環境におられる皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループにおきましても、中国子会社での半月の企業活動

の全面停止、日本国内での緊急事態宣言発令、アメリカ、オランダ、インド、タイでの外出禁止令、各国政府の出入国制限により生産活動や営業活動に大きな制約が発生しました。しかしながら生産拠点のある中国、インド両国において、生活に必要な容器を製造している、特に感染拡大の抑制に利用する除菌関連製品に必要な容器を製造していることから、それぞれ早い時期から生産活動の許可をいただき、従業員の感染予防にも配慮して生産活動を行うことができました。

日本国内におきましても、4月の緊急事態宣言の発令に伴い、東京、大阪、名古屋、福岡の営業・管理部門人員については出社人数を制限し、在宅勤務や時差通勤を導入しました。お客様との間でもWEB会議等を活用し、遠隔でのコミュニケーション確保に努めました。今年4月にオープンしたTOGETHER LABはお客様をお迎えしての活用はまだ本格化していませんが、デジタルツールの活用を想定した機能を備えているので、今後の提案営業活動でその機能を発揮できるものと期待しています。

2020年上半期の業績につきましては、このような事業環境の中で連結売上高は前年比5.4%減となる74億19百万円となりましたが、営業利益は中国政府の社会保険料免除、原油価格低下に伴う原材料費負担の軽減などがあり、前年同期比17.9%増となる9億89百万円となりました。新型コロナウイルス感染症のリスクは軽減することなく存在していますが、当社を取り巻く事業課題を的確に認識し、Standoutなパッケージングソリューションを提供してまいります。

株主の皆様には、健康にご留意いただくとともに、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

すべてはStandoutな価値のために 特集 Together Lab. オープン

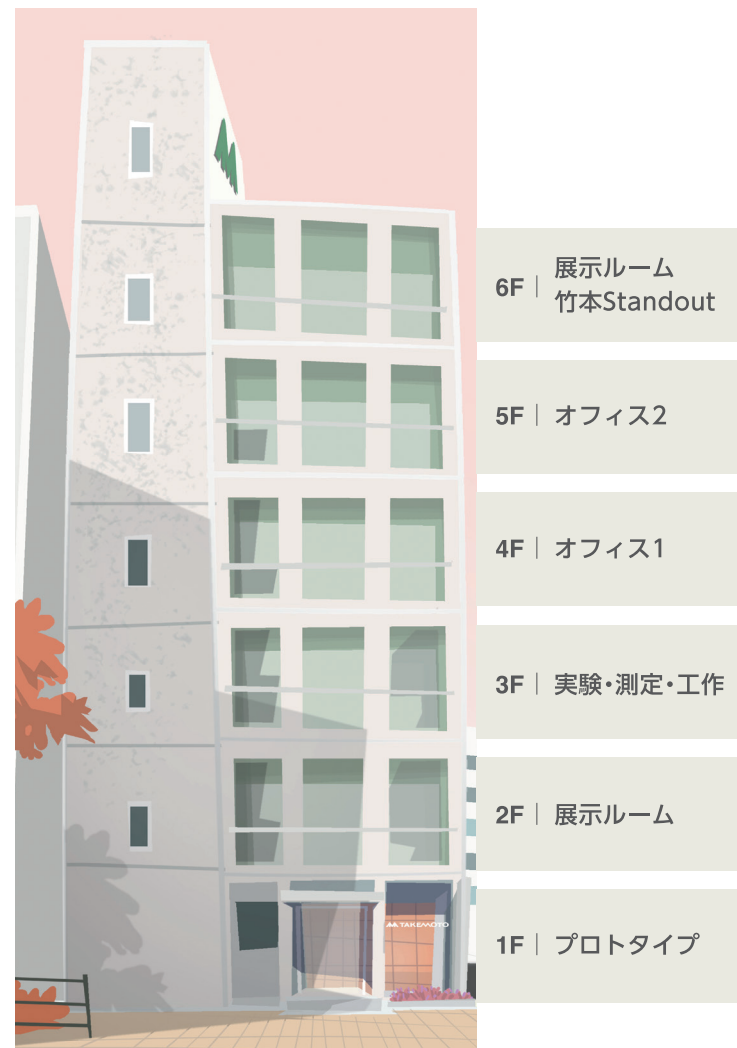
お客様の求める商品価値の創造とより高い満足を目指しStandoutなパッケージングソリューションを提供するための「共創開発拠点」として、2020年4月にTOGETHER LABがオープンしました。

TOGETHER LABでは理想の容器を作るために、お客様の企画、試作から量産のご相談までを都内で行える環境を整えました。当社のスタンダード

ボトルを数多く展示したり、デジタル設計ツールと3Dプリンターを活用してお客様のアイデアをその場で立体模型として提示したり、オリジナル容器のための調色や本生産へ向けた印刷の確認もワンストップで提供していくことで、お客様のブランド作りに貢献してまいります。

Together Lab. が目指すもの

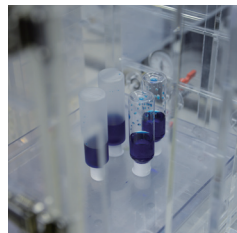
デジタルとリアルな技術を融合し、アイデアやイメージをカタチにしていくプロセスを通じ、お客様と未来のブランドデザインを共有し、新たなパッケージ文化の創造を目指します。



容器の使用感や内容物の特性に適した感性品質の追究

ラボスペース 3F

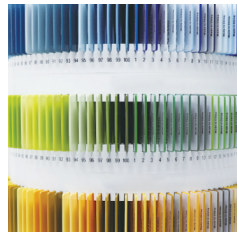
- 触感センサー等を用いた客観的データに基づく容器使用感評価の実施
- 内容物に応じた各種機能性試験や感性品質評価
- 酸素透過度測定装置を使用したガスバリア性検証



豊富な色見本をご用意し、カラーソリューションをご提供

カラーサンプル 2F

- 既存プレートやPANTONE樹脂プレートの中より、イメージに合った色見本をセレクト



色見本をもとに調色したプレートやカップで、完成品カラーのご確認

調色 1F

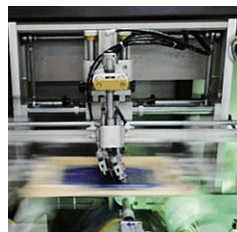
- 調色プレートまたは調色カップで製品カラーを確認



カラーや印刷により、完成品に近いイメージでデザイン検討をリアルでスピーディーに展開

カラーイメージ／印刷 1F

- エアースプレーにより着彩し、製品カラーイメージを確認



本生産に向けた印刷試作の立会いができます。

印刷 1F

- ボトル、キャップ、チューブの印刷試作立会い



3Dイメージでシミュレーションした容器のプロトタイプを製作

3Dプリンター 1F

- 立体模型の製作
- 試作ボトルを成形するための樹脂型を製作



商品企画にあった既製品を展示ルームでご選定

展示ルーム：2F／6F

- ・3500型の中よりセレクトした既製品を展示
- ・さまざまな二次加工のご提案
- ・サステナビリティなどのテーマ展示

Your product,
our package.
Together
the possibilities
are endless.

Let us help you standout.

私たちは
パッケージを通じて
お客様とともに
未来のブランドを
デザインします



TOGETHER LABの展示ルーム

デジタルツールを使用して、3Dイメージでの容器シミュレーション

オリジナルボトルはお客様のスケッチを元に、具体的な設計をシミュレーション

デジタルツール

- ・既製品はボトルとキャップの組み合わせや、カラーのシミュレーション
- ・オリジナル製品は3Dイメージを確認しながらシミュレーション



アイデアスケッチ



3Dイメージ

3Dプリンター

新製品情報

Standoutなパッケージングソリューションを創造する当社グループの新製品の一部を紹介します。

日本

「2Way CAP」

広口容器用に半月型と8穴タイプの2方向で開く新CAPです。中身を2つの口部から取り出すことが可能で、少量だけ使いたいときや、たくさん使いたいときなど用途に合わせて使い分けができるCAPです。



耐熱容器「FPC-200H」

ドレッシング、液体容器向けの新しい耐熱容器です。通常の容器よりも高い温度で内容物を充填することで殺菌効果が期待できます。常温販売の販路が広がり、賞味期限も長くなるので商品廃棄量の削減にも貢献できる容器です。



中国

「レバーポンプ」

テコの原理を利用したレバー形状とすることにより、片手でも内容物を取り出すことができるポンプを開発しました。ハンドソープやボディケア、スキンケアなど、両手で操作できない場面での利便性を考えたポンプです。



付け替え容器「REI-120Ⅱ」

スキンケア商品向けにケースとディスペンサー部分を連続利用し、内側の容器を付け替えて使用する容器です。付け替え型とすることで、内容物の保護と廃棄される樹脂の削減を目指して開発した容器です。



展示会情報

中国・上海市の展示会に出展しました。

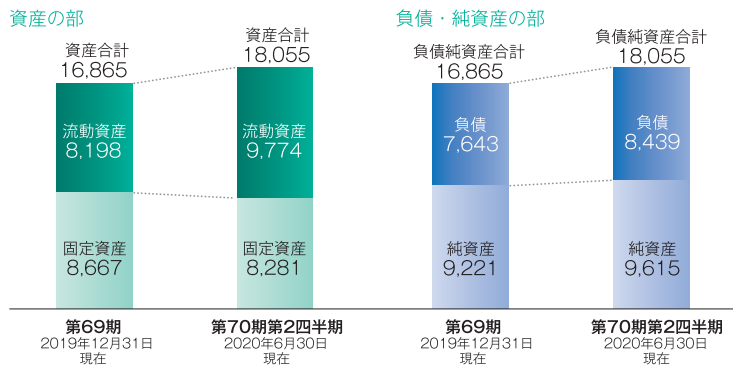
2020年7月9日～7月11日の日程で中国上海市で展示会（中国美容博覧会）が開催され、出展いたしました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、来場者の身分証明書を用いた本人登録が必要で、来場時の体温測定やマスク着用が徹底されての開催でした。

中国国内各所から多くのお客様が来場し、当社ブースも盛況となりました。化粧品向け新製品や機能性製品など多くの製品を紹介することができ、関心を集めておりました。

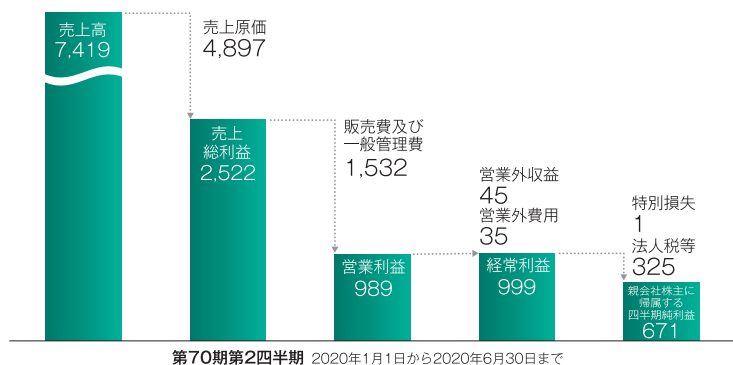


連結財務諸表

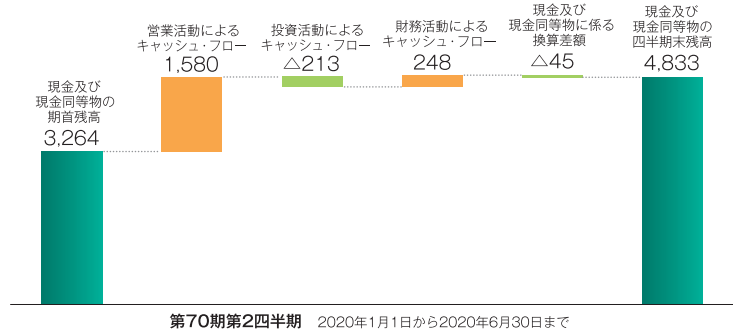
連結貸借対照表 (単位:百万円)



連結損益計算書 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



POINT

●純資産

純資産は、前期末と比較して3億94百万円増加の96億15百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金が6億71百万円増加し、剰余金の配当が1億19百万円であったこと及び為替換算調整勘定が1億60百万円減少したことによるものであります。

●業績

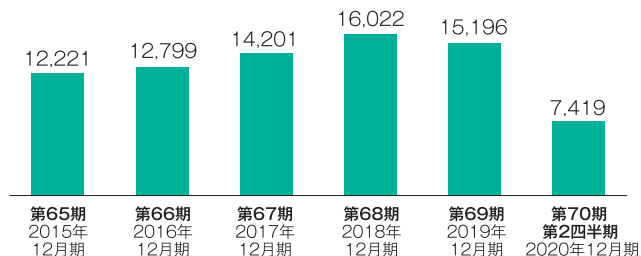
2018年中の化粧品容器の品不足懸念に起因する先行調達への反動による影響が残るものの、国内では新規案件獲得の増加とリピート需要の回復に加え、新型コロナウイルス感染症予防対策として衛生関連向けの需要が増加しました。一方で2020年の2～3月にかけて中国国内での事業活動停止・縮小の影響があったことから、当第2四半期の売上高は74億19百万円(前年同期比5.4%減少)となりました。また、費用面では樹脂原材料価格の低下、中国国内での労務費、社会保険料免除などの施策により製造原価、販管費が抑制されたこと、予定していた設備投資実施時期の先送りもあり、当第2四半期の営業利益は9億89百万円(前年同期比17.9%増加)となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

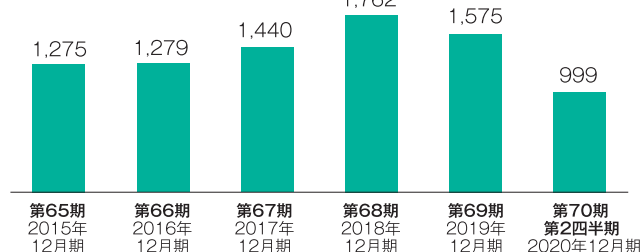
営業活動の結果得られた資金は、15億80百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益9億97百万円、減価償却費5億26百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1億31百万円であります。

連結決算ハイライト

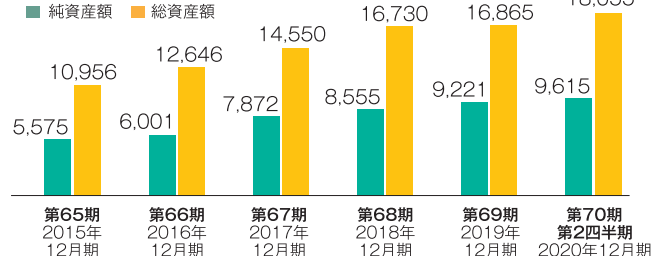
売上高 (単位:百万円)



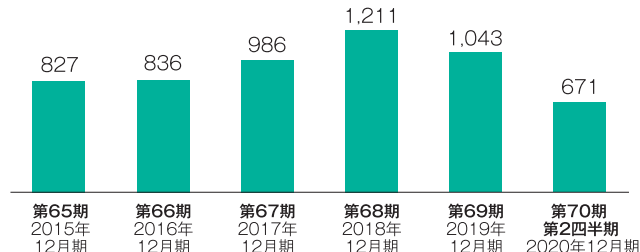
経常利益 (単位:百万円)



純資産額／総資産額 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



会社概要／株式の状況 (2020年6月30日現在)

会社概要

商号	竹本容器株式会社 Takemoto Yohki Co., Ltd.
代表	竹本 笑子
設立	1953年5月19日
所在地	〒111-0035 東京都台東区西浅草一丁目5番15号
資本金	8億342万1,725円
事業内容	プラスチック製の包装容器の製造及び販売

役員

代表取締役社長	竹本 笑子
常務取締役	深澤 隆弘
取締役	竹本 えつこ
取締役(監査等委員)	穴田 信次
	田中 達也
	石川 雅郎
	小川 一夫

株式情報

発行可能株式総数	40,997,600株
発行済株式の総数	12,529,200株
株主数	9,793名

大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(株)	議決権比率(%)
竹本 笑子	3,370,000	26.90
竹本容器若竹持株会	622,200	4.96
竹本 えつこ	612,500	4.88
深澤 隆弘	532,500	4.25
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	471,500	3.76
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	457,200	3.65
竹本 雅英	426,000	3.40
深澤 英里子	220,000	1.75
竹本 力	200,000	1.59
THE BANK OF NEW YORK 133652	173,900	1.38

株式分布状況



株主優待制度について

当社では、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、株主の皆様にご当社製品を実際にご利用いただくことを目的として、下記の通り株主優待制度を設けています。

【株主優待制度の概要】

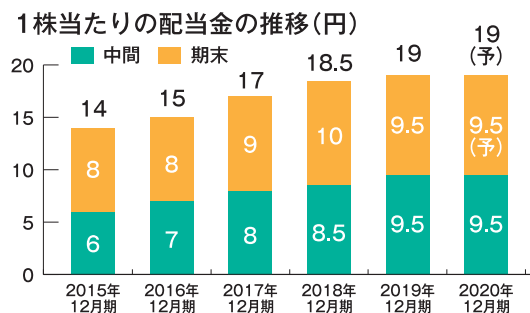
- (1) 株主優待制度の対象となる株主様
毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上保有の株主様を対象といたします。
- (2) 株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	当社が企画開発したオリジナル容器を包装容器に使用した特選品

- (3) 贈呈の時期
株主名簿確定後にオリジナルボトルの製造を行い、毎年4月に発送しております。

配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元におきまして、配当性向水準に留意し、業績に対応した成果の配分を行うことを基本方針としています。2020年12月期の中間配当につきましては、1株当たり9.5円といたしました。期末配当につきましては、9.5円を予定しております。



なお、当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2018年12月期以前の1株当たり配当金の金額は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎事業年度の末日翌日から3ヶ月以内
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(フリーダイヤル)
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告としております。電子公告は当社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下のとおりです。 http://www.takemotokk.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。